

H29.11.18 あいぽーとフェア'17開催 (北上川下流河川事務所：改修の歴史等のパネルを展示)

- 平成29年11月18日、岩手県一関市内にある北上川学習交流館にて、国交省、岩手県、一関市消防、自衛隊と合同で、『あいぽーとフェア'17』が開催され、約250名の方々に参加していただきました。
- 今回のイベントは、～しっかり備えて、ばっちり避難する～をテーマに、いざ洪水が発生した時に「自ら」が命を守る防災を知る」ことや「洪水の被害を軽減するダムなどの治水施設」や「排水ポンプ車などの災害対策車」の目的や役割について知る」ことを目的として実施しました。
- 北上川下流河川事務所では、「北上川下流部改修の歴史に関するパネル」及び「ミニ簡易アラート装置に関するパネル」を展示し、水害の記録や治水施設の役割等について認識してもらったほか、洪水が発生した時に役立つ簡易アラートの仕組みを理解してもらい、水防災意識の向上に資する取組となりました。
- ブースに訪れた方々からは、「北上川下流部の被害状況や改修の内容などが分かった」「東日本大震災からの復旧・復興状況が進んでいる様子分かった」などといった声も聞かれるなど、大変好評でした。



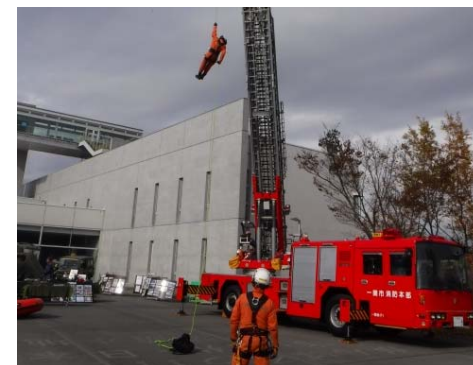
復旧・復興事業に関する説明の様子
(北上川下流河川事務所)



パネルに関する説明の様子
(北上川下流河川事務所)



ダムの役割に関する模型による説明の様子
(北上川ダム統合管理事務所)



降下訓練を行っている様子
(一関市消防)



降雨体験の様子
(岩手河川国道事務所)



※ダムから撤去した流木を使用

流木を使ったものづくりの様子
(岩手河川国道事務所)



パネル展示等の様子
(気象庁)



来場者へ説明している様子
(自衛隊)